

超高齢発症の軟部肉腫治療成績に関する研究

1. 研究の対象

対象は、1992年1月から2016年12月までに、秋田大学医学部附属病院並びに共同研究施設において、病理組織学的に軟部肉腫と診断された方。

2. 研究目的・方法

軟部肉腫は60代や70代など高齢者に比較的発生する事が多い悪性腫瘍である。治療は手術による根治的な切除が基本であるが、高齢になるにつれて全身麻酔下での手術にリスクを伴う可能性も高くなってしまふ。また、抗癌剤を用いた化学療法も、副作用の問題から、高齢になると逆に予後を短くする可能性もあり行いにくくなる。高齢化が進む近年、85歳以上の超高齢者での軟部肉腫症例も増えてきているが、そのような超高齢者の治療成績の報告は見られない。本研究により超高齢者の治療成績が明らかになれば、その臨床像と治療に対する反応を理解した適切な治療が可能になることが期待される。

本研究の目的は、全年齢の軟部肉腫症例の臨床像を後方視的に検討し、その中で超高齢者とそれ以外の年齢での治療成績を比較する事で、治療成績向上のために改善すべき点を明らかにすることである。適格症例の診療情報(匿名化)を症例調査票に記入する。匿名化された診療情報を集計し、全症例の腫瘍学的成績について後方視的に解析する。

研究実施予定期間は臨床研究審査委員会承認後、病院長承認日から平成31年12月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、腫瘍の部位と大きさ、手術の詳細情報(切除範囲、切除縁など)、術後合併症、腫瘍学的転帰、遠隔転移出現の有無、施行した化学療法・放射線療法等、症例調査票に記載される項目を対象とする。

4. 外部への試料・情報の提供

当院外への情報の提供は行わない。

共同研究機関からの情報は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータセンターへ提供し、対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学附属病院	整形外科	土江博幸
		永澤博幸
札幌医科大学付属病院	整形外科	江森誠人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 秋田大学医学部附属病院 整形外科学講座

電話番号：018-834-1111

担当者の所属・氏名：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

研究代表者：秋田大学大学院医学系研究科整形外科講座 土江博幸

-----以上